

2022年4月5日

各位

会社名 山田コンサルティンググループ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 増田 慶作  
 (コード: 4792、東証プライム市場)  
 問合せ先 取締役管理本部長 首藤 秀司  
 (TEL. 03-6212-2500)

## 通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2021年5月7日に公表した通期連結業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

|                         | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | 1株当たり当期<br>純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|---------------------|----------------|
|                         | 百万円    | 百万円   | 百万円   | 百万円                 | 円 銭            |
| 前回発表予想(A)               | 14,100 | 2,100 | 2,100 | 1,400               | 73.64          |
| 今回修正予想(B)               | 14,560 | 2,490 | 2,530 | 1,700               | 89.42          |
| 増減額(B-A)                | 460    | 390   | 430   | 300                 |                |
| 増減率(%)                  | 3.2    | 18.5  | 20.4  | 21.4                |                |
| (ご参考)前期実績<br>(2021年3月期) | 15,315 | 2,252 | 2,322 | 1,394               | 73.38          |

#### (2) 修正の理由

経営コンサルティング事業において、持続的成長コンサルティング及び事業承継コンサルティングを中心に案件受注が順調であったことから、売上高が当初予想を上回る見込みとなりました。

売上高増加に伴い、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益のいずれにつきましても、当初予想を上回る見込みとなりました。

なお、前期実績比では、売上高はコンサルティング事業においては前期比増収見込みであるものの、投資ファンド事業において前期は投資先株式売却等の売上高が2,619百万円だったのに対して、当期は投資ファンド事業の同様の売上高が635百万円(前期比1,984百万円の減収)の見込みとなったことから、全体としては755百万円の減収見込みとなりました。

利益面につきましては、売上総利益率の高いコンサルティング事業の売上高が増収見込みとなったことから、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益のいずれにつきましても、前期実績を上回る見込みとなりました。

## 2. 期末配当予想の修正について

### (1) 2022年3月期期末配当予想の修正

|                       | 年間配当額        |              |              |
|-----------------------|--------------|--------------|--------------|
|                       | 第2四半期末       | 期末           | 合計           |
| 前回予想<br>(2021年5月7日公表) | 円 銭<br>18.00 | 円 銭<br>19.00 | 円 銭<br>37.00 |
| 今回修正予想                | —            | 27.00        | 45.00        |
| 当期実績                  | 18.00        |              |              |
| 前期実績<br>(2021年3月期)    | 15.00        | 22.00        | 37.00        |

### (2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、「高水準かつ安定的な配当」を続けていくことを基本方針としております。

この基本方針の下、具体的な指標としては、連結配当性向 50%を上限とすることとしておりますが、これに、少なくとも DOE（株主資本配当率）5%を目途に安定配当とする指標を加え、当社グループ全体の利益水準及び財政状態等を総合的に勘案しながら中間配当額及び期末配当額を決定しております。

2022年3月期につきましては、親会社に帰属する当期純利益が当初予想を上回る見込みとなったことから、上記配当方針に基づき、期末配当を前回予想から1株当たり8円増配の1株当たり27円となる見込みとなりました。

年間配当額は、前回予想から1株当たり8円増配の1株当たり45円となる見込みとなりました。

(注) 上記の通期連結業績予想及び期末配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上